

◎左の詩文を自運（自分の創意により制作）にて仕上げ
提出して下さい。

- ・大きさ…条幅（縦書き）
- ・書体…草書体

〔詩文〕

○作者	李白
○題	秋浦歌
○本文	其五
秋浦多白猿	秋浦の歌
超騰若飛雪	其の五
牽引條上兒	秋浦に白猿多し
飲弄水中月	超騰すること飛雪の若し

〔語句〕

○秋浦	唐代の県名。現在の安徽省池州市貴池区。
○白猿	六朝時代から怪奇伝説「白猿伝説」というものがあり、李白はこの詩をその伝説に基づいて作ったとの説があるが、ここではそれは省略し、單なる白い猿として訳す。
○牽引	牽引
○條上	條上

○超騰 跳びはねる。

○牽引 引つ張る。

○条 木の枝。
○水中月 水に映る月影。

〔意味〕

秋浦には白い猿がたくさんいる。跳びはねるさまは、舞い散る雪のようだ。木の枝の上から子猿を引き寄せては、（川で）水を飲みながら、水に映る月影にじやれている。

〔参考〕

今回より草書になります。

草書＝点画を簡略化したもの。波磔を去り、形体を簡略にし、これを符号化したところが多い。

次に、草書の点画をいくつかあげてみよう。

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1、唇（くち） | 4、椰子（やし） | 7、流木（ながれぎ） |
| 2、鳥（からす） | 5、鮑（あわび） | 8、虫（むし） |
| 3、燕（つばめ） | 6、筐（ささ） | 9、蘭（らん） |

以上

古典の研究

《集字聖教序（王羲之）》

〔訳文〕 恒明。自非久植勝縁。何以顯揚斯旨。所謂法相常住。齊三光之明。我皇福臻。同一儀之固。伏見

今月の同人の課題は、王羲之の集字聖教序です。『集王聖教序』ともいう。唐の僧・懷仁が、王羲之の真跡から字を集めて作ったもので、完成まで二十五年かかっている。王羲之の真跡がひとつも残っていない現在としては、貴重な資料である。行書を主としているが、集字のため、統一に欠けたところもある。しかし王羲之の瀟洒な書風はよくうかがえる。任意の箇所を選び、条幅二十字二行に仕上げて提出して下さい。

